

第208回歯科医学教育セミナー
共催：ウェルビーイングプロジェクト

ウェルビーイングを口腔から考える -イギリス国民保健局の資料を中心として-



演者 茂木 伸夫 先生

明海大学 保健医療学部 特任教授

日時：2023年9月25日（月）
17:30~18:30

開催形式：Zoomウェビナー

「ウェルビーイング」は1946年世界保健機関(WHO)設立時に憲章前文のなかに登場しました。肉体的、精神的、社会的側面においてすべてが満たされた状態にあることを意味し、様々なバックグラウンドの中で定義されています。2000年前後、心理学者Ryanらは、ヘドニックウェルビーイングとユーダイモニックウェルビーイングの二つの側面があると指摘しました。これは古代ギリシャの哲学者アリスティッポスとアリストテレスの概念に基づいています。具体的にはヘドニックウェルビーイングは感情(feeling)に基づくものであり、ユーダイモニックウェルビーイングは理性(thinking)に基づくものを言います。

今回、イギリスの国民保健局(NHS)の小児と成人のデータから、う蝕、歯周病、歯の欠損、歯科への恐怖心、歯科処置などの年齢別、地域別、経済状況別の違いなどについて、ヘドニックウェルビーイングとユーダイモニックウェルビーイングの観点から比較し検討しました。この二つのウェルビーイングを理解することが歯科からの発信を加速するものと考えます。

略歴

1977年東京歯科大学を卒業、助手を経て、東京都立駒込病院口腔科に勤務。1988年歯学博士（昭和大学歯学部）、1999年博士（医学）京都大学医学部。2015年がん・感染症センター都立駒込病院歯科口腔外科部長早期退職、イギリス、ブリストル大学(2016年)、サセックス大学プレマスターコース(2017年)修了。

2018年サセックス大学マスターコース修了、修士（教育社会学、Wellbeing）取得。ケンブリッジ大学短期留学（異文化理解とリーダーシップ）。

2019年明海大学保健医療学部教授。歯学基礎英語、歯学臨床英語、英会話、臨床医科学などの授業を担当。国際交流委員、メディア委員、ハワイ大学看護学部歯科衛生士学科海外研修責任指導教員、オーストラリア、セントラルクーンズランド大学交換交流責任者。

2023年明海大学保健医療学部特任教授(～9月)